

・復活後第四主日

泉のほとり

今月の詩編「第二十三編」

主は羊飼ひ、

わたしには何も欠けることがない

主はわたしを青草の原に休ませ

憩いの水のほとりに伴ひ

魂を生き返らせてくださる。



マグダラのマリアに

マグダラのマリアはイエスさまが十字架を背負わされ、歩かれる後ろを泣きながらついて行きました。十字架につけられ、息を引き取られるのも見て、ある弟子がご遺体を墓の中に納める様子を見届け、安息日が始まる直前まで墓に残りました。

安息日が終わると、マリアは朝早く墓へ出かけて行きましたが、入り口の石が取り去られ、イエスさまのお身体がないのです。一人墓の外に立ち、涙を流し、墓の中を見ると、二人の天使たちがいて「婦人よ、なぜ泣いているのか」と言いました。「誰かが私の主を取っていきまし」と答え、後ろを振り返ると、復活されたイエスさまが立つておられたのですが、気づきません。イエスさまも「婦人よ、なぜ泣いているのか」と言われます。

イエスさまは死者の中から復活されました。ご自分をよみがえらせた、死を超える力、復活の力ある神さまを見えています。神さまがおられるのに、マリアはなぜ泣くのかと言われました。でも、マリアは誰かが私のイエスさまを取って行き、ご遺体がないことしか見ていません。イエスさまがそばにおられることにこだわらるマリアには神さまも、復活の力も見えず、泣き続

けているのです。
イエスさまは「婦人よ」と言われました。「マリア」と呼ばれたら、すぐに再会を喜ぶことができたと思います。以前、ご自分の母マリアにも「婦人よ」と言われました。母は、イエスさまは神の御子であるのに、イエスは私の息子だと地上での関係の中で見ていたのです。その母に「婦人よ」と言われました。イエスさまは神さまとご自分との関係を第一にして、地上での関係を超えて、人との関係を見ておられます。しかしマグダラのマリアは私の愛するイエスさまがいなくて

悲しい、お身体を見つけて私が引き取り、そばにおきたいと。人間的な関係、この地上での関係に目を向けていました。

イエスさまが「マリア」と呼ばれると、マリア目の前にいるのがイエスさまだと気づきます。マリアは愛するイエスさまのそばにいられることが嬉しく「ラボニ」。直訳すると「私の先生」と言い、すがりつこうとしたのです。深い悲しみや寂しさを満たしてくれる私の先生、私のイエスさまを離したくないと。その姿はまるでこの地上でイエスさまといつまでも一緒にいたいと願うかのようなのです。地上の関係を見て、地上のことこだわらるマリアは復活のイエスさまが目のおられても、復活の力、天のものがあことは見えていません。

「私にすがりついてはいけません」と言われました。ご自分とのこの地上での関係を越えて、物事を見るようにと。マリアが地上のことを見て、こだわることではなく、天の神さまを見て、神さまとの関係の中で生きるようになるためです。この後、天に上られるイエスさまを私の先生ではなく、私の主、私の神と見る関係の中で生きるためにすがりつくことを拒まれました。

私たちは何にすがりついて生きますか。私の悲しみや寂しさを満たしてくれる人との関係や、これがないと生きていけないと思うこの地上のものでしょうか。私たちには御子を復活させられた天の父がおられます。この地上のどんな人も、どんなものも持つていない、天の力、天のものを持つておられる神さま、イエスさまがおられるのです。私たちは神さま、イエスさまとの関係の中で生きて、天のものに目を向けていきたいと思ひます。

2023年度

教 会全体課題

日々聖書に聴き、

御言葉に従って歩む。

2023年度

心に刻む御言葉

生まれたばかりの乳飲み子のように、
混じりけのない霊の乳を慕い求めなさい。
これを飲んで成長し、救われるようになるからです。

(ペテロの手紙一 2章2節)

新しい翻訳

どうかわったのでしよう

66篇

新共同訳

七 神はとこしえに力強く支配し

御目は国々を見渡す。

背く者は驕ることを許されない。「セラ

八 諸国の民よ、我らの神を祝し

賛美の歌声を響かせよ。

九 神は我らの魂に命を得させてくださる。

我らの足がよろめくのを許されない。

協会共同訳

七 神は力によってとこしえに支配し

その目は諸国民を見渡される。

背く者は自ら驕つてはならない。「セラ

八 もろもろの民よ、我らの神をたたえ

賛美の歌声を響かせよ。

九 神は私たちに命をお与えになる。

私たちの足をよろめかすことはない。

新改訳2017

七 神はその御力をもつてとこしえに統べ治め

その目は国々を見張られる。

どうか頑迷な者を高ぶらせないでください。

八 国々の民よ 私たちの神をほめたたえよ。

神の誉れをたたえる声を響き渡らせよ。

九 神は私たちのたましいをいのちのうちに保ち

私たちの足を揺るがさない。

《今日のお知らせ》

○第二礼拝後（十二時二〇分日処）、ハイデルベルクの会を礼拝堂トリモートで開催します。箇所はハイデルベルク信仰問答「第四八・四九主日 問一二三と問一二四」です。

○ハイデルベルクの会后、運営委員会、各種委員会が開かれます。

○今回の洗礼式と転入会式は七月三十日です。その時に受洗・転入会をご希望の方は願書をお書きになり、五月三十一日までにご提出ください。どちらの願書も事務所にあります。

○韓国・光州第一教会からコイノニアキャンプの日程が正式に決まったとの連絡がありました。十月二一日（土）から二五日（水）までの日程です。お心のある方は、ぜひご参加ください。

《今後の予定》

○五月二二日 定例役員会

○五月二八日 ペンテコステ礼拝（二回礼拝）

○六月七日 「子どもの礼拝」開始（予定）

※詳細調整中

今日の讃美歌 現代語訳

讃美歌 285番

1. 神様 御手で導いてください
主の道をひたすら歩みます
どんなに暗く険しい道でも
主の御心ならば私は避けたりしません
2. 主の御力を頼りとし御知恵に任せ
自分で道を選ぶことはしません
ただ主の御心に従って
お委ねして 正しく歩んでいきます
3. 神様 私が飲むべき盃を
選んで私にお授けください
その盃に満たしてくださるままに
喜びも悲しみも全てお受けいたします
4. この世を主にお捧げして
神の国とするためには
叱責も、恥も、死も滅びも
苦になりません 全てを主にお任せします

今日の聖書クイズ

(問)

ペトロとヨハネは「美しい門」と呼ばれるところで、足の不自由な男を癒やしました。この出来事はどこで起きたのでしょうか？

- A カファルナウム
- B エルサレム神殿
- C ナザレ
- D ヤッファ

(答)

使徒言行録 3章1～10節を

御

覧ください。



《次週の礼拝》

● 第一礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 讃21 127番 讃21 57番
説教 「エデンの園」
聖書 創世記2章4～25節
説教者 宮間彰広 兄

● 第二礼拝 (午前11時)

讃美歌 149番 327番
説教 「あなたに代わるものとせよ」
聖書 列王記上19章15～21節
説教者 黄允湜 牧師



第一礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 讃21 127番 讃21 57番
説教 「光あれ」
聖書 創世記1章1～2章3節(旧約 P1)
司式 宮間 彰広 兄
聖餐司式 黄 允湜 牧師・菊池 美穂子 副牧師
説教者 菊池 美穂子 副牧師

前奏曲「世のはじめさながらに」D.ケッパ

○ 讃美歌21 127番

1. み恵みあふれる 主をほめたたえよ。
みわざを忘れず 賛美をささげよ。
主に求める時、主は答えられる、慰めをもって。
2. 求める人には 主は耳傾け
畏れる人には み守り与える。
主を仰ぐ人は 苦難の中にも 喜びを歌う。
3. 味わいみつめよ、主の深い恵み。
とこしえの代まで 変わらぬ憐れみ。
みもとに身を寄せ 畏れる人には、
欠けるものはない。 アーメン

○ 讃美歌21 57番

1. ガリラヤの風かおる丘で ひとびとに話された
恵みのみことばを わたしにも聞かせてください。
2. あらしの日波たける湖で 弟子たちにさとされた
ちからのみことばを わたしにも聞かせてください。
3. ゴルゴダの十字架の上で つみびとを招かれた
すくいのみことばを わたしにも聞かせてください。
4. 夕ぐれのエマオへの道で 弟子たちに告げられた
いのちのみことばを わたしにも聞かせてください。

アーメン

聖餐曲「小さな和声の迷宮」J.S.バッハ

後奏曲「聖なるみ神は」S.カル＝エート

第二礼拝 (午前11時)

讃美歌 147番 285番
説教 「ここで何をしているのか」
聖書 列王記上19章9～14節(旧約 P566)
司式 宮間 彰広 兄
聖餐司式 黄 允湜 牧師・菊池 美穂子 副牧師
説教者 黄 允湜 牧師

前奏曲「トッカータ」J.P.スウェーリツ

○ 讃美歌147番

○ 聖歌隊による讃美

「主は生きておられる」ウィリアム J. ゲイザー 作曲
主イエスと呼びまつる
み神のひとり子
空しい墓こそが 救いのみわざ 証しする
確かに生きておられる
怖れは消え去り み力与えたもう
よみがえりの主仰ぐ時 いつの日か川を渡り
最後の戦いに 勝利を得させたもう
今も 主生きておられるから
主が生きておられるから
明日に目を向け
望みに満たされ
われらも生きる 主と共に
ハレルヤ！ ハレルヤ！

○ 讃美歌285番

聖餐曲「小さな和声の迷宮」J.S.バッハ

後奏曲「聖なるみ神は」S.カル＝エート

※ 礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。